

# WHOにおけるFood safety に関する取り組みと 日本への期待

山本 尚子

WHO事務局長補

(UHC/Healthier Populations)

[yamamoton@who.int](mailto:yamamoton@who.int)

# 食の安全が人々の健康に及ぼす影響



Every year foodborne diseases cause:

(毎年、食品由来の疾病が起こっている数)

almost  
**in 10**  
people to fall ill

**33 million**  
healthy life years lost

Foodborne diseases can be deadly, especially in children <5

(食品由来の疾病は、特に5歳未満の子供に大きな負荷をもたらしている)

**420 000**  
deaths



Children account for

almost **1/3**  
of deaths from  
foodborne diseases

(食品由来の疾病による死亡者数の約1/3を子供が占める)

Diarrhoeal diseases are responsible for:

(下痢の影響)



**1/2**  
global burden of  
foodborne diseases  
caused by 31 hazards

(食品由来の疾病の半分は31の因子によって引き起こされている)

Key global causes of diarrhoeal diseases:

(下痢の主な原因)

- Norovirus
- E. coli*
- Campylobacter*
- Non-typhoidal *Salmonella*

**550m**  
people falling ill  
**230 000**  
deaths

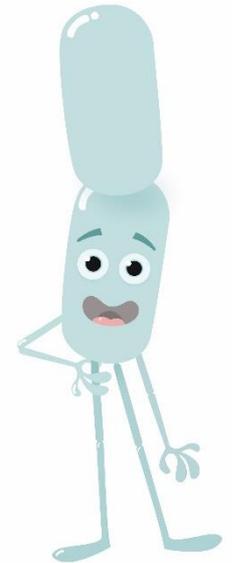
including  
**220m**  
children <5 falling ill  
**96 000**  
of whom die



5.5億人が病気になり、23万人が死亡している。(うち、5歳未満は2.2億人が病気になり、96,000人が死亡している)

# WHOにおける食品安全対策の概要

- 早期発見、予防、対応 - INFOSAN
- 人獣共通感染症への対応
- 食品汚染モニタリング - GEMS/食品データベース
- 科学的根拠・データの蓄積、リスクアセスメント
- 国際的な安全基準やガイドラインづくり
- ガバナンス（法・財政制度の研究、普及）
- キャパシティ・ビルディング（能力開発）
- コミュニケーション・健康増進
- アドボカシー、パートナーシップ



# 食品安全対策における課題

## 課題1: WHOの栄養・食品安全戦略

- Healthier Population 3<sup>rd</sup> Billionの達成に貢献するための総合的で一貫性のあるWHOの栄養・食品安全戦略の策定

## 課題2: Healthier Population 3<sup>rd</sup> Billion構想

- 現在、SDG & GPW13には食品安全関連の指標は含まれていない
- Healthier Population 3<sup>rd</sup> Billionへの貢献度をモニターするための食品安全指標の開発が必要

## 課題3: ノーマティブ・ワーク(規範的な役割)

- 加盟国とCodexからWHOへの科学的助言の要請の増加
- 人的資源と資金が必要
- 持続可能で予測可能な資金の増加が必要

# 食の安全の意味するもの : with COVID & post COVID

ヒューマン・ヘルス

グローバル・セキュリティ

エコシステム

食品安全  
リスク・アセスメント  
食のシステム  
管理  
医療体制

栄養  
発育障害  
疾病予防  
健康増進  
リテラシー

新たなリスク  
の増加  
新興感染症  
・SARS  
・MARS  
・COVID-19  
・AMR

緊急時の  
準備・対応  
リカバリー  
モニタリング

持続可能な  
食システム  
気候変動

農魚林業  
流通・貿易  
開発  
インフラ整備  
観光・交通

One Health Approach (Human, Animal and Environment)

サイエンス、知見・経験の共有、戦略策定、トレーサブルな目標、イノベーション



# The Sustainable Development Goals

## 国連持続可能な開発目標 (SDG)



食品安全への取り組みは、幅広くSDGs達成へ貢献しうる

# 食品安全に関する日本への期待

- 食の安全は、人々の健康の視点のみならず、グローバル・セキュリティや持続可能な開発の観点からも重要な課題。
- 日本のもつ科学的知見、技術、人材、現場力等により、
  - ✓ 食品安全を支える制度や仕組みを構築・改善している経験の共有、他国への支援
  - ✓ 科学的データ、エビデンスの蓄積と共有
  - ✓ 国際的規範、基準、戦略作りへの参画
  - ✓ One Healthへの取り組みの提示
  - ✓ 国際的な新興感染症、健康被害の発生のモニタリング・評価への参画
  - ✓ AMRへの取り組みの推進
  - ✓ イノベーションへの貢献
  - ✓ グローバルな政治的・科学的取り組みへのリーダーシップ



Thank you